

おもいやり種をまき
笑顔の花を咲かせよう!



つなぐちゃん

この広報誌発行には社協会費が使われています

そはら南地区 社協だより

編集・発行／蘇原南部地区社会福祉協議会

発行日／令和7年8月15日

私たちそなん社協は
『こどもまんなかサロン』を応援します!
あなたの地域にもつくりませんか?

こどもまんなかサロンとは、令和7年4月から各務原市社協が取り組んでいる新事業で、日中子どもたちだけになりやすい夏休みなどの長期休暇期間に、子どもが歩いて行ける身近な範囲に、子どもを含む地域住民が集う交流や仲間づくりの場を作ることにより、地域のつながりが生まれ、子どもたちの孤立防止や地域の中での子育てがすすむことを目的とするものです。

(開催場所)

サロンの開催場所は、公民館、集会場、空き店舗、空き家等子どもたちが参加しやすい場所で開催していただきます。

(活動内容)

活動内容は、参加者にあわせて創意工夫し下記の活動など自由に行うことができます。

- ・レクリエーションやゲーム ・折り紙や小物作りなどの制作活動
- ・おしゃべりやおやつ、ランチタイム ・宿題や勉強に取り組む時間
- ・子どもたちと考えた活動など

新規事業 こどもまんなかサロンに応募がありました!

今年度より新規にはじまったメニュー事業の「こどもまんなかサロン事業」に応募がありました。

今回応募があったのは、吉新町を中心にしたサロン『遊び・学び・ふれあう子どもの居場所』です。代表者はボランティアハウス・ふれあい食堂とふれあいサロンを運営されている清水美佳さんです。

その活動内容をご紹介します。

- ① ラジオ体操と朝食会 ラジオ体操とおにぎりを自分で握って食べよう
- ② みんなで宿題をやろう 地域に住まれる教職員さんと共に、頑張るぞ
- ③ 工作を楽しもう 工作名人の技を覚えよう
- ④ 親子クッキング（生地から始めるピザ作りなど）
- ⑤ 餅つき会

以上の計5回の内容になっています。

いづれも地域住人の教職の方、工作名人、地元の子供会、大学生ボランティアなどの協力を得ての開催です。

地域住民の輪を広げるととても楽しみある『こどもまんなかサロン』だと思います。



<お問い合わせ>

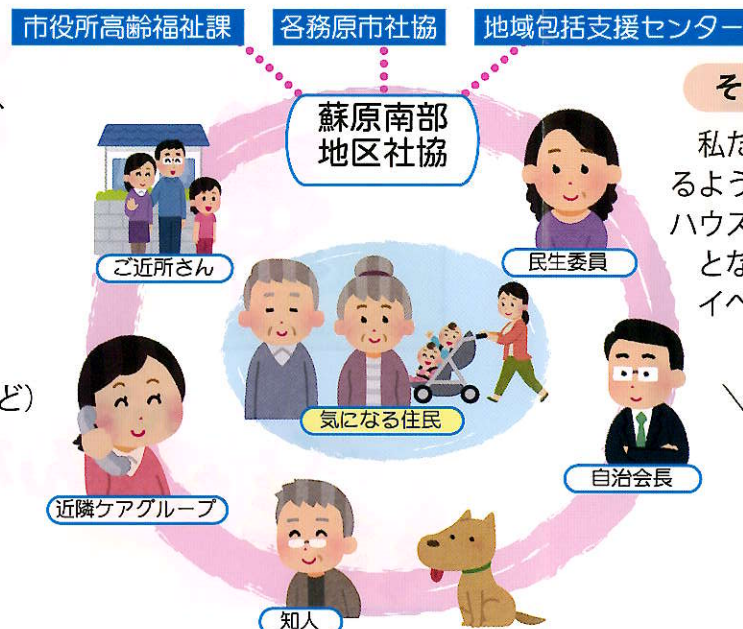
蘇原南部地区社協 畑佐

地域福祉とは

「地域福祉」とは、それぞれの地域でみんなが安心して暮らせるよう、近所の人や福祉に取り組む団体、市などが協力し合って地域で起きるさまざまな問題に取り組む考え方です。近所の人にあいさつをしたり、困っている人に声をかけたりすることも大切な地域福祉活動です。

小地域福祉座談会

また、地域福祉に携わる方々（自治会、民生委員、近隣ケアグループなど）が一同に会して地域福祉に関する困り事や問題点など情報交換する座談会を定期的に開催して市、地区社協など一丸となって地域福祉に取り組んでいます。



そなん社協では

私たち蘇原南部地区社協では、地域福祉が円滑にできるよう、地域の方が集まれる場所をつくる（ボランティアハウス事業の推進）や地域の方が少しでも多く顔見知りとなれるよう各種サークルの発足支援や各種地域イベントの企画を行っています。



◆市民アンケートより

地域福祉・活動について	ある	ない
安心できる居場所がある	91.6%	5.2%
地域の住民同士での助け合いや支え合える地域づくりに関心がある	67.4%	30.5%
近所の人と付き合いがある	87.9%	2.1%
困った時に近所で助けてくれる人がいる	91.6%	--
今後地域活動をしたいと思う（続けたいと思う）	27.0%	--
地区社会福祉協議会の活動に関心がある	52.7%	10.9%

ボランティアハウスの活動をご紹介します。

ユリの会 箏と歌曲の調べ

場所 六軒公民館
時間 毎月第3月曜、第1金曜/09:30~11:30
連絡先 (川島)

6月16日(月)六軒公民館にて「箏と歌曲の調べ」が開催されました。この日はシニアクラブのメンバーも加わり30名以上の方が参加されました。

町田真澄さんと松下加代子さんによる箏曲の演奏、声楽家の沢島恵子さんの独唱、箏とソプラノのコーラレーションの曲が披露され、格調高い音色、美しい歌声、日本と西洋の美の融合を楽しみました。そして箏の伴奏と沢島さんのリードで参加者も一緒に「おぼろ月夜」、「浜千鳥」等、懐かしい歌を歌いました。とても心豊かで素敵な時間を過ごすことが出来ました。



元気ハウス 元気ハウスはみんな元気だあ !!

場所 蘇原福祉センター
時間 第2・4月曜、第4日曜及び不定期月1回/9:30~12:00
連絡先 (高木)

昨年春、新たに発足したVH「元気ハウス」をお訪ねしました。そしてまた今回二名の方が新たに参加されていました。

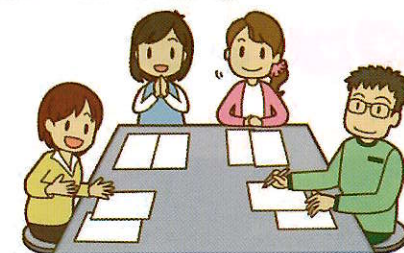
最初は高齢者向けの体操から。TVでおなじみの「みんなの体操」から「きよしのズンドコ節体操」、筋トレ・脳トレ体操(左右の手をグーチョキパー反対に動かす)などを約20分間行ったあと、しばし休憩。

その後、防災に関するビデオを視聴「防災避難袋」の大切さを学びました。新参加の方の自己紹介、誕生月の方へのプレゼントもあり、またその方の東日本大震災に遭われた貴重なお話もされ、その他にもカラオケ、ポッチャ、各テーブルに分かれておしゃべりタイムなどとにかく元気な方ばかりで笑いの絶えない元気ハウスさんでした。



小地域福祉座談会を開催しました。

7月13日(日)柿沢地区、7月16日(水)月丘団地・ナビタウン地区と二つの座談会で「小地域における地域福祉のあり方と展望を考える」をテーマに担当する自治会・民生児童委員・近隣ケアの方々による白熱した議論が展開され限られた時間とプライバシーの問題を抱えながらも、地域住民に対しどのように有機的な「ネットワークを構築」し、彼らの切実な「福祉」に対するニーズ・要望に対しに実践的に応えていくかの答えを探索しました。



7/13
(日)

柿沢地区

(第1・第2自治会グループ
第3・第4自治会グループ)

近隣ケアのスタッフがいない同地区では自治会正副会長、民生児童委員が参加され、現状と抱える問題点を語っていただきました。特に改選時期にあたる民生委員は候補者選び、自治会は自治会員加入の件と、福祉を実践する側の課題が浮き彫りとなりましたが、今後ともこの2つの組織がしっかりと繋がって「ネットワーク」を構築することの重要性和必要性が認識され、実りある会談となりました。



7/16
(水)

月丘団地・ナビタウン地区

「集合住宅」という同じ居住環境を持つ二つの地域が初めて合流し、「地域福祉」「ネットワークの構築」について、ひざ詰めの語り合いが展開されました。

分かったことは同じ環境ながら、それぞれ独自の「暮らしぶり」「住民の連携に関する捉え方」が在ったことでしたが、それでも違いを認識しながらも、今後とも地域福祉について共同して会談の場を設けることへの賛同が得られました。



7/19
(土)

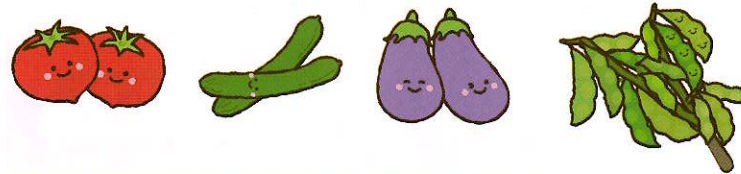
第2回おすそわけ市開催 ー井戸端農園ー

今期2度目となる「井戸端農園のおすそわけ市」が開催されました。今回はキュウリやナス、トマトなどの夏野菜を中心に陳列し、前回のおすそわけ市にご来店され「とても美味しかったので」と再度訪れる方や、前号の地区だよりを見て「初めて来てみました」という方もいらっしゃいました。井戸端農園は1年を通して農園会員のみなさんが手塩にかけて育てた野菜を通常は会員のみなさんで分け合っていますが、フードロスの観点からその時期に多く採れる野菜は地域のみなさまにも「おすそわけ」して味わっていただこうとお値打ち価格で販売する試みです。

次回は12月の『お楽しみフェスタ』内で開催の予定です。形や大きさはいろいろですが、会員皆さんの努力の結晶、完全無農薬の蘇原南産お野菜を味わってみませんか？ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。



▲たくさん並んだ美味しそうな夏野菜



次回おすそわけ市は12月の『お楽しみフェスタ』内で開催の予定です。お気軽にご参加下さい。どうぞお楽しみに！！



▲色々な種類のじゃがいももあります。



▲トマト、オクラなどのバラエティーパック



▲子どもたちもお店屋さんをお手伝い



▲枝豆収穫、朝採れの新鮮野菜です。



▲ピーマンやししとうなどどれも美味しそうです



▲ブロッコリーは収穫を終えて撤去



▲美味しく食べていただけますように



▲作業のあとのかき氷は格別です

井戸端農園のようすはInstagramやYouTubeでもご覧いただけます。



井戸端農園 idobata_nouen



蘇原南部SONANチャンネル

